
令和4年度
事業報告書

自：令和 4年 4月 1日
至：令和 5年 3月31日

宮城県仙台市泉区上谷刈字向原3番地の30

社会福祉法人 やまとみらい福社会
理事長 早坂 了悦

本部 事業実績報告

社会福祉法人やまとみらい福祉会は、法人開設より 12 期を終えました。社会福祉を標榜する法人として、地域の福祉ニーズに応えるべく果敢に挑戦を繰り返しておりますが、何より利用者、家族、職員、地域にとって望まれるサービスや支援、法人の在り方を常に念頭に置き事業実施に努めてまいりました。

令和 4 年度は、既存事業の収益性を含めた事業推進体制の再評価、修正及び人事評価制度の導入、勤務管理システムの更新、業務基準書の作成等、職員定着支援に注力を致しました。また、依然として感染が拡大していた新型コロナウイルスについては、各事業所長を中心に、リスクを想定した迅速な対応、行政等からの情報収集、事業所間での情報共有等に奔走し、感染拡大の防止に努めてまいりましたが、夏季と年末に発生した感染拡大の影響は事業所にも及び、年度を通して稼働率や対策に用いる消耗品費に大きく影響を与える結果となりました。次年度以降は、上昇を続ける物価や水光熱費による対策を国と事業所とともに、事業継続の在り方と合わせて検討してまいります。

いずれの事業も、地域に望まれ、そのニーズに即した事業を今後も継続し、歩みを進めてまいります。人材の確保、育成、定着等の諸課題や、感染症、災害等の影響も懸念されますが、あらゆるリスクを想定し、堅実で着実な歩みを進めてまいり所存です。

[社会福祉法人やまとみらい福祉会運営事業]

令和 4 年度に実施した運営事業は以下のとおり

・第 1 種社会福祉事業

特別養護老人ホーム抱優館八乙女(長期入所事業)

地域密着型特別養護老人ホーム抱優館南光台東(長期入所事業)

・第 2 種社会福祉事業

特別養護老人ホーム抱優館八乙女((介護予防)短期入所生活介護事業)

地域密着型特別養護老人ホーム抱優館南光台東((介護予防)短期入所生活介護事業)

ヘルパーステーション東雲(老人居宅介護等事業)

ホームヘルパーステーション東雲(居宅介護事業/障害者)

やまとみらい八乙女保育園(小規模保育事業)

やまとみらい南光台東保育園(認可保育園)

就労移行、定着支援事業所オルタ八乙女(障害福祉サービス)

就労継続支援(A型・B型)事業所ワインフォレストセツ森(障害福祉サービス)

・公益事業

ケアプランセンター抱優(居宅介護支援事業)

ケアプランセンター東雲(居宅介護支援事業)

サービス付き高齢者向け住宅東雲(サービス付き高齢者向け住宅)

・収益事業

不動産賃貸業

太陽光発電による売電事業

[各種外部研修・行政等主催研修参加状況]

日時	研修名	参加者	主催
6/8	社会福祉施設 事務担当職員研修	事務職員	スクラムマネジメント
7/8	令和4年度仙台市社会福祉法人・施設職員研修事業 会計担当職員研修	事務職員	社会福祉法人社会福祉協議会
8/22	全国社会福祉法人経営青年会 令和4年度組織・人材マネジメント委員会主催セミナー	本部職員	全国社会福祉法人経営青年会
9/28	労働契約等開設セミナー2022～労働契約法をはじめとした労働関係法令の基礎～	事務職員	ランゲート株式会社

特別養護老人ホーム抱優館八乙女 事業実績報告

特別養護老人ホーム抱優館八乙女は、地域に根ざした社会福祉法人として、引き続き地域に望まれる施設運営を念頭に業務を進めることと、介護の質を上げることへのチャレンジを基本方針として業務執行に努めました。

入居者の安全確保は、感染症及び食中毒等について、厨房委託業者との連携や全職員参加の予防研修等により、食中毒及びインフルエンザの罹患者はありませんでしたが、令和4年度も感染が拡大している新型コロナウイルスの影響は、8月の第7波、12月の第8波も影響し、年度後半は慢性的に感染者が発生し対応に追われることとなりました。ウイルスの持ち込みに対する予防対策として、家族の面会制限や来館者に対する検温、うがい、手洗い、マスク着用の徹底、体調不良職員への対応等、感染症予防対策に重点的に取組み、感染防止に努めてまいりました。発生後の対策についてもゾーニングや職員応援体制の確立により、1月末日時点で入居者の罹患者はゼロとなり、収束に向かうことができました。

感染状況を踏まえ新規入居受付を一時保留にした影響により、稼働率にも影響が出ており、また感染対策の消耗品費の増加、10月以降の企業の値上げに伴う水光熱費、その他の消耗品費等の増加に伴い、当初年度予算を割り込んでの着地となりました。

嘱託医に関しては、入居者の健康管理体制に加え看取り体制も支障なく執行できています。令和4年度に施設退所された方は32名、内看取り介護同意の方は18名でした。認知症の入居者に対する精神科クリニック医師による月2回の診察・指導に加え、歯科医指導による口腔ケアの取組みも継続して行っております。

令和4年度の利用実績

[入居者の要介護度別年齢]

	要介護1	2	3	4	5	平均	
	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢	介護度	年齢
男	—	—	79.8	83.1	81.0	4.2	81.6
女	—	83.4	87.8	90.5	89.8	3.9	88.9
計	—	83.4	85.9	88.4	87.5	4.0	87.1

[特別養護老人ホーム抱優館八乙女利用実績] 全80室 平均入居者73.5人 稼働率91.9%

月	平均入居者数	稼働率	月	平均入居者数	稼働率
4月	74.5名	93.1%	10月	72.0名	90.0%
5月	73.7名	92.2%	11月	70.2名	87.7%
6月	75.0名	93.8%	12月	72.4名	90.4%
7月	75.3名	94.1%	1月	75.1名	93.9%
8月	73.6名	92.1%	2月	73.8名	92.2%
9月	73.8名	92.3%	3月	72.5名	90.7%

(介護予防) 短期入所生活介護抱優館八乙女 事業実績報告

利用者像が多様化する中、介護度の重い方や重度の認知症の方等、様々なニーズに対応するべく、介護職員のスキルアップを図るとともに、ミスなく対応できる体制を築くことが強く求められています。また、短期入所生活介護部門(ショートステイ)は、在宅の方が利用対象であり、地域のケアマネージャー等との連携が必須となります。そのことを念頭に、地域福祉拠点として地域包括ケアの役割を担うことを目標としております。

令和4年度は3度のコロナ感染症拡大に伴う新規利用者の受け入れ停止があり、平均稼働率は目標の90%に対し、87.9%となりました。今後も職員の成長を期するとともに、地域に信頼される開かれたショートステイの構築に努めてまいります。

[(介護予防) 短期入所生活介護抱優館八乙女利用実績] 全20室

平均月延べ利用者数 535.1人 稼働率 87.9%

月	延べ利用者数	稼働率	月	延べ利用者数	稼働率
4月	542名	90.3%	10月	574名	92.6%
5月	555名	89.5%	11月	525名	87.5%
6月	551名	91.8%	12月	546名	88.1%
7月	553名	89.2%	1月	526名	84.8%
8月	531名	85.6%	2月	462名	82.5%
9月	538名	90.0%	3月	517名	83.4%

抱優館八乙女サービス提供実施状況

住まいづくり：各ユニットにおける生活環境の適正化に努め、ワインフォレストによる清掃に加えてユニット内外の取組みとして環境整備を行い、厚みのあるケア体制作りを進めることができました。また安全衛生委員を中心に4S活動等の環境チェックを実施し、環境美化に取り組まれました。また事務職員の当番制でトイレや給湯室の定期清掃、マスク・手指消毒剤等の点検・補充に努め、環境美化と感染症予防に取り組まれました。

安全・安心な美味しい食の提供：産直米・産直野菜の使用と日清医療食品の協力、管理栄養士のミールラウンドによる嗜好調査、季節の料理提供等により、安全で美味しい食の提供に努めました。

チームづくり：2度の職員面談やユニットリーダーとの個別面談、諸会議などを積み重ねて業務課題の抽出を行い、情報伝達や記録方法のデータ化等、業務全体の改善定着を図りました。令和4年度は、外部コンサルタントによる事業評価制度と業務基準書の作成に取り組み、自己の業務やキャリアパスの見える化を現場職員を含む全員で作り上げることを成し遂げました。次年度以降は、これを職員の内的動機付けの向上へとつなげていく所存です。また、令和3年度に引き続き外部メンターを導入することにより、比率の改善に努め、次年度以降のチームケアに向かえる体制づくりに心がけてまいりました。

リスクマネジメント：リスクマネジメント委員会をはじめとする委員会の設置とその活動は、年々、重要性を増しています。毎月の事故報告やヒヤリハット事例の検討をもって、点検と対応に努めました。特に、誤薬や服薬ミスは入居者の健康維持上重要であることから、看護職、介護職に加え、嘱託医等の多・他職種との連携によって改善を図り、発生予防のために服薬マニュアルの再構築と研修を実施し人的ミスの防止に努め、減少化しております。

人材採用・育成：8月より、施設管理体制の変更に伴う方針として、新規採用から定着支援に重点を置き、離職率の改善及び人材派遣会社の利用率を減少させ、正規雇用率を高めることに注力してまいりました。また、再度、施設が求めるケアや入居者の安心・安全な暮らしを、業務としてではなく内発的動機に置き換えて行えるよう、面談等を通じたヒアリングや基準書作りを通じた標準的な業務を行える体制づくりを徹底してまいりました。その一方で、新卒採用や外国人材採用に向けた取り組みは、コロナの影響により当初計画していた採用人数に達することができなかつたため、次年度以降の採用育成体制に持ち越すこととしております。また、多くの介護施設が職員不足に喘ぐ中、仕事に対する業務標準体系の確立や、それに伴う評価制度の構築を行うことで、入居者やご家族、地域に向き合える環境を整備するとともに、次年度以降は研修や介護マニュアルのゼロベースからの改善を行い、多様性に対応出来る職員の帰属意識の醸成と適切なケアの実現に努めて参ります。

抱優館八乙女各種委員会活動報告

●リスクマネジメント委員会

【構成メンバー】

施設長、事務長、介護支援係長、生活相談員、介護支援専門員、管理栄養士、機能訓練指導員、看護師、介護職員

【開催】

計9回（7月・8月・1月はコロナウイルス感染対応の為、中止）

【本年度の取り組み】

法定研修

第1回 リスクマネジメント研修 ～介護現場に潜むリスク～（10月、11月実施）

第2回 リスクマネジメント研修 ～家族の信頼を得て、事故を防止する～（2月実施）

【振り返り】

今年度のリスクマネジメント委員会は、当初目標として「委員会や研修を通して、職員のレベルアップを図ること」「“ヒヤット・ハット”する出来事への気付きの目を増やしていき、防げる事故は防いでいく」を掲げ、委員会運営を実施してまいりました。

介護過誤での事故は少ないと感じながらも、重大事故（骨折事故）は依然として発生しており、結果としてADLの低下に伴う活動量の減少がみられる事例も多くありました。その為、事故分析を①利用者要因 ②職員要因 ③環境要因に分類し、今後の対応について委員会メンバーを中心に、模索している状況であります。

ヒヤリハットの件数も僅かながら増加傾向にありましたが、介護職員から、ヒヤリハットの活用を推進していきたいという意見が挙がるなど、前年度と比べ、自分事として問題意識をもって臨む姿勢が委員全体に見られるようになったと感じております。

法定研修については、研修実勢による拘束時間を軽減するため e ラーニングでの自己学習を推進し、

実地研修に動画研修を盛り込んだ内容を行いました。多数の職員より、「何度も見返せ、自分の都合の良い時間で学習できる」との話があったため、今後も職員の意見を反映させながら行ってまいります。

次年度は、職員のレベルアップを加速させるため、ユニットミーティング等の場で現場でのヒヤリハット活用を促し、ヒヤリハットの重要性と、事故予防の大切さを訴えかけていき、『防げる事故は防ぐ!』というスタンスで1件でも多くの事故を防ぎ、活気ある生活の場の提供に努めてまいります。

●感染症予防対策委員会

【構成メンバー】

施設長、事務長、介護支援係長、生活相談員、介護支援専門員、管理栄養士、機能訓練指導員、看護師、介護職員

【開催】

奇数月に実施

【本年度の取組み】

- ・佐藤栄養士より食中毒に関する勉強会の実施。(法定研修)
- ・国内および県内のコロナウイルス感染状況の確認及び面会制限実施。状況に応じて臨時感染委員会を開催し、面会制限や外部サービス導入の検討を行う。
- ・委員会職員にて、手洗い研修やガウンテクニックの講習を行う。(法定研修)
- ・感染対策物品の購入及び管理

【振り返り】

- ・面会制限や外部サービスの制限について討論し、コロナ発生時は都度制限を掛けるという内容にしていた。しかし変異株の発生に伴い、感染経路も異なる事が増えてきたため、状況に応じた柔軟な対応が必要であった。
- ・コロナウイルスや食中毒に関しての研修は数回行っていたが、吐物処理に関しての研修が実施できていなかった。
 - ・外部講師を招いての研修がコロナウイルスの感染状況によって実施することが出来ていない時がある為、状況を把握して実施できるように調整していく。
 - ・コロナウイルス感染状況を感染委員会以外の職員が把握できる機会がなかったため、月に1度程度で広報が発信できるようにしていく。

●身体拘束廃止・ケア向上委員会

【構成メンバー】

施設長、介護支援係長、生活相談員、介護支援専門員、管理栄養士、機能訓練指導員、看護師、介護職員

【開催】

5月、7月(2回・身体拘束事案発生)、8月(2回・研修実施)、9月

【本年度の取組み】

- ・身体拘束の基本的な部分をしっかり理解する。
- ・ケア向上の為に、ケース記録の意味や記入方法について理解する。

【振り返り】

- ・身体拘束に関する基本的な内容を研修や委員会にて周知を行ったが、職員によって考え方や認識に大きな差を感じていた。今までは主に研修で基礎的な内容の周知を行っていたが、来年度からは委員会内でも基本的な身体拘束について説明していく。
- ・コロナウイルスもあり委員会や研修の開催数が大きく減ってきているため、集まることが不可能な時に配れる資料を準備し身体拘束廃止の意識向上に努める
- ・コロナ感染が見られたユニット内で三原則にのっとり身体拘束を行ったが、その前後を記録に残し必要が無くなった時は迅速に解除する事が出来た。
- ・ケア向上の観点からの話し合いが記録の件しか出来なかった為、来年度からは認知症の話や後期の研修にケア向上の研修を開催する。

●虐待防止・ケア向上委員会

【構成メンバー】

施設長、介護支援係長、生活相談員、介護支援専門員、管理栄養士、機能訓練指導員、看護師、介護職員

【開催】

計3回（4月、6月、2月に実施）

【本年度の取組み】

- ・法定研修・・・6月、5月、3月に実施。
- ・コロナ研修・・・12月に実施。

【振り返り】

- ・コロナの影響もあり、委員会を開催する事が難しかった。
- ・虐待防止については、職員の目につく場所にポスターを掲示する事で、一人一人に意識付けが出来ると感じた。
- ・虐待研修を通じて、一人で抱え込まず、他者と共有し、自分だけの問題ではなく施設全体の問題として考える事を職員に知ってもらえた。
- ・研修企画については、職員・利用者様・入居者様・大切な誰かの為になればと思い開催した。
- ・コロナ研修を計4回程開催するも、出席率が良くなかったが、途中から、感染法定研修に切り替わると出席率が良くなったように感じた。
- ・自主研修という位置づけだと出席率が悪かった。時間外手当が出なくても出席したくなるような、興味を引く研修を企画する必要があると感じた。

●栄養管理委員会

【構成メンバー】

施設長、介護支援係長、生活相談員、介護支援専門員、管理栄養士、機能訓練指導員、看護師、介護職員 ※日清医療食品栄養士、調理師

【開催】

計9回 ※ 8月、12月、1月は施設内でコロナ感染があった為、中止

【本年度の取り組み】

・行事食

(中華弁当、ココ壱番屋カレー、昭和メニュー、こどもの日、母の日、たいめいけんハヤシライス、沖縄ご飯、父の日、吉野家牛丼、七夕メニュー、吉野家親子丼、土用丑の日、二の丑の日、お盆精進料理、敬老会、ハロウィーン秋祭り、冬至、クリスマス、餅つき、年越し、おせち料理、七草がゆ、節分、バレンタイン、寿司の日、ひな祭り、ひな祭りピュッフェ)

- ・各ユニットからメニューや行事食、提供方法についての協議事項を持ち寄り委員会内で検討を行った。
- ・食事やメニューの感想、反省を委員会で発信し改善策を検討した。
- ・ユニットや厨房の衛生管理の実状を確認し、改善すべき箇所や重点的に清掃すべき箇所を委員会内で共有した。
- ・夏季期間は特に食中毒の発生状況を報告し注意喚起、情報共有を行った。
- ・11月に嗜好調査を実施し、2月に結果を報告、厨房へのフィードバックを行った。
- ・ユニット内で毎日記入している衛生管理表、中心温度記録表のチェックと回収。

【振り返り】

- ・コロナ感染が発生した月の委員会が開催できなかった為、各ユニットの意見の発信が遅くなり、記憶をたどりながら改善策を検討した為、タイムリーな対応ができなかった。
- ・前年度同様、外食ができない分施設内でできる行事食やユニットの行事食を増やし内容も工夫している。
- ・行事食の立案、実施、反省を毎月行い、それを中心に活動しており、衛生管理状況については疎かになっている。新しい職員が増える来年度は衛生管理にも比重をおきバランスよく活動していきたい。
- ・委員全員が集まった会がなく、欠席しているユニットに検討協議した内容が伝わっていないことがあった。

●排泄・褥瘡予防委員会

【構成メンバー】

施設長、介護支援係長、生活相談員、介護支援専門員、管理栄養士、機能訓練指導員、看護師、介護職員

【開催】

計9回 (8月、10月12月はコロナにより中止)

【本年度の取り組み】

今年度の大きな目標【発赤や痛みかゆみのない快適な排泄支援、皮膚状態の維持】とし、小目標をいくつか掲げた。ユニ・チャームの松田様の協力を得て、施設全体の課題、スキルアップ目標で活動する。メインは排泄ケアへの理解と見直しについて、高齢者の皮膚の特徴や便秘ケアなど、脱水予防への理解、体位変換の基本的理解と実践など、スキルアップへの働きかけに取り組む。テーマ別にミニ研修を委員会内で開催。体位変換や背上げ、除圧についての実践研修も行う。

【振り返り】

課題解決への取り組み内容を明確にすることができず、目標達成のため、小目標をいくつか掲げた。委員会を開催する中で課題が変化したものもあった。職員の話の聞いたり現状を知ったりし、小目標が適していたのかを振り返るきっかけも出来た。また、睡眠確保のための安眠ケアへの考え方にばらつきが生じ、違う認識に変わってしまった部分もあった。そのため、誰のための排泄ケアなのかを伝え続け、来年度も大きな目標設定はあまり変えず、入居者様が快適な生活を送れるよう、栄養面、排泄ケア面、医療面など、多方面からのアプローチを活かしていける委員会にしたい。そのために職員が同じような認識や方向性を持ち合わせユニットで取り組んでもらえるように、勉強会を充実させ、指導面のスキルアップも行っていきたい。小さなことから少しずつ取り組んでいき浸透させていければと思う。ユニ・チャーム様のご協力もあり、実りある委員会活動となりつつあると感じた。来年度もユニ・チャーム様のご協力も得て取り組んでいく。また、脱水予防への理解を深めるため外部研修も取り入れたいと考えております。

●行事企画・広報委員会

【構成メンバー】

施設長、介護支援係長、生活相談員、介護支援専門員、管理栄養士、機能訓練指導員、看護師、介護職員

【開催】

計6回

※7月、1月、2月はコロナ感染があった為中止。10月はハロウィン秋祭りの準備の為中止。

【本年度の取り組み】

6月：居酒屋、7・8月：交流ホールのみ七夕飾り、9月：敬老会、10月：ハロウィン秋祭り、12月：クリスマススイーツコンテスト・餅を食べる会、3月：ひな祭り

※9月・3月：ニュースレター

【振り返り】

- ・コロナ対策を講じながら出来る範囲で行事を遂行する事ができた。
- ・簡素的な行事になってしまいコロナ以前のような行事開催が出来なかった。
- ・夏の恒例行事だった納涼祭はコロナの影響で開催できず。代わりにハロウィン秋祭りを企画。

初めて取り組んだ行事だったが好評であった。

- ・クリスマスシーズンにスイーツコンテストを初めて企画。課題もあったが成功させる事が出来た。
- ・ニュースレターは作成することができたが、お便りについては作成することができなかった。
- ・新しく取り組んだ行事も入居者様に喜ばれ、いつもとは違った雰囲気の中で楽しむことができた。
- ・施設でコロナ感染があり、委員会が開催出来ない月があり残念だった。
- ・委員会活動が制限された中ではあるが、工夫し一定程度活動できたのは良かった。
- ・途中で委員が入れ替わり、出席できない委員もいた為工夫が必要と感じた。

●安全衛生委員会

【構成メンバー】

施設長、介護支援係長、生活相談員、介護支援専門員、管理栄養士、機能訓練指導員、看護師、介護職員、総務職員

【開催】

計 12 回

【本年度の取り組み】

前年度まではコロナウイルス予防の観点から 4S チェックは委員会内での報告のみとしていたが、今年度は委員会前半の時間で、奇数月に 4S（整理・整頓・清掃・清潔）チェックを実施し、各フロア内の危険個所等の確認を行い、労働環境の整備・向上に努めた。年度後半からは「ユニット内の定期的な換気」、「エアコンの適正温度」等のチェック項目も追加し、実施した。

委員が持ち回りで座学研修の担当となり、委員全体の知識向上を目指した。また、委員が中心となり自ユニット内での周知を行った。

【振り返り】

定期的な 4S チェックにより各フロア内の危険個所等は徐々に改善されつつあるが、細かな部分での指導箇所は未だ見られる為、委員による各ユニットへの再指導や、前回の記録を持つての 4S チェックの実施に力を入れる。

●防災対策委員会

【構成メンバー】

施設長、事務長、介護支援係長、生活相談員、介護支援専門員、管理栄養士、機能訓練指導員、看護師、介護職員、総務職員

【開催】

計 6 回

【本年度の取り組み】

- ・6月に炊き出し訓練実施。

・9月に避難訓練実施。

【振り返り】

・炊き出し訓練について

数年ぶりに実施したが、スムーズに実施することが出来た。ただ、今回はお粥とムース食の方は普段通りの食事で提供していた為、次回はムース食・お粥も含めた訓練を実施したほうがよいと思われる。

・避難訓練について

コロナの影響もあり去年は実施できなかったが、今年度、実施することが出来たのは良かった。ただ、前回の訓練から時間が空きすぎており、職員の動きが悪かった。また、避難経路・避難方法について理解していない職員も数名おり、再度周知が必要と思われる。

避難訓練終了後に、希望職員・新人職員に散水栓等の使い方を教え、実際に使用する機会がもてて良かった。

本来であれば、年に2回訓練を実施しなければならない為、来年度以降は実施できるようにする。

[各種外部研修・行政等主催研修参加状況]

日時	研修名	参加者	主催
5/24	令和4年度「介護職スキルアップ研修」(第1回)～利用者との介護者に安全・安楽な移乗の介助～	介護職員	仙台市健康福祉事業団 介護研究室
5/26	OJT指導者養成研修	ユニットリーダー	宮城県社会福祉協議会
6/10	令和4年度 泉区管内給食施設従事者研修会～給食施設における衛生管理～	管理栄養士	仙台市保健所
6/11～	喀痰吸引等研修	ユニットリーダー	宮城県社会福祉協議会
6/21	要介護(要支援)認定調査に係る介護認定調査員新任研修の実施について	機能訓練指導員	仙台市健康福祉局
7/6	クレーム対応研修	介護支援係長	宮城県社会福祉協議会
7/12	令和4年度「介護職スキルアップ研修」(第4回)～精神疾患を持つ人との関わり方 介護職員が知っておきたいポイント～	介護職員	仙台市健康福祉事業団 介護研究室
8/25	宮城県キャリアパス支援事業研修～新人職員育成の為に講座～	介護職員	宮城県介護福祉士会
8/25	宮城県キャリアパス支援事業研修～薬の知識と服薬支援～	介護職員	宮城県介護福祉士会
9/6	宮城県キャリアパス支援事業研修～多職種との理解と連携～	介護職員	宮城県介護福祉士会
9/9	宮城県キャリアパス支援事業研修～認知症介護基礎研修～	介護職員	宮城県介護福祉士会
9/20	宮城県キャリアパス支援事業研修～医学的知識とフィジカルアセスメント～	ユニットリーダー	宮城県介護福祉士会

9/30	令和4年度介護施設における安全対策担当者養成研修	介護支援係長 事務職員	公益財団法人全国老人福祉施設協議会
10/8	宮城県キャリアパス支援事業研修～介護技術～	介護職員	宮城県介護福祉士会
10/10, 15, 16	2022年度社会福祉士実習指導者講習会	生活相談員	一般社団法人宮城県社会福祉士会
11/8	宮城県キャリアパス支援事業研修～記録の要点とチームケア～	ユニットリーダー	宮城県介護福祉士会
12/21	認知症介護基礎研修	介護職員	公益財団法人仙台市健康不育市事業団
11/7	令和4年度仙台市社会福祉法人・施設職員研修事業 管理者研修	介護支援係長	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
12/9	令和4年度仙台市社会福祉法人・施設職員研修事業 中堅職員研修	ユニットリーダー	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
12/6	「今こそ新型コロナ対策をアップデートする。～インフルエンザとの同時流行に備え、生活を取り戻すためにできること～」	ユニットリーダー	一般財団法人宮城県公衆衛生協会
12/1	ノロウイルス予防対策研修会	看護師	泉区保健福祉センター 衛生課 食品衛生係
2/21	令和4年度 第1回 仙台市老人福祉施設協議会 泉支部災害対策研修会 『泉区内における風水害対策について』	介護支援係長 ユニットリーダー 事務職員	仙台市老人福祉施設協議会

内部研修報告

開催日	研修名	内容
5/11、19、26	感染症予防対策研修①	食中毒予防、衛生管理
6/3、9、17	虐待防止・ケア向上研修①	マニュアルの確認
6/8、25	自主勉強会	外国人（特定技能）受入れについて
8/8、9/8	身体拘束廃止研修①	マニュアルに基づく今後の取組み
10/11	リスクマネジメント研修①	介護現場に潜むリスク（動画視聴）
12/12（合計5回）	感染予防対策研修②	コロナ対応について（ガウンテクニック等）
2/14	リスクマネジメント研修②	事故防止について（動画視聴）
3/6、16、23	虐待防止・ケア向上研修②	実際にあった虐待について（事例検討）
3/7、20	身体拘束廃止研修②	事例検討とグループワーク

地域密着型特別養護老人ホーム抱優館南光台東 事業実績報告

令和4年度は新型コロナウイルスの影響を大きく受け、10月末から利用者、職員を含め40名超のクラスターが発生し、対応に追われることとなりました。

昨年度に続き、ご家族様との面会制限や来館者に対する基本的な感染予防策(検温、うがい、手洗い、マスク着用の徹底)の実施、体調不良職員への対応など施設職員一丸となり感染症予防対策・感染防止に努めて参りました。

コロナ発生後の対応として、作成していたBCPを基に罹患していない職員による感染拡大防止体制の確立、介護業務・ケアの簡素化の実施、スムーズな職員の応援体制の確立等、平時からシミュレーションに力を入れていたため、ひと月程度で収束することができました。

しかしながら、上述内容の通り新規利用を一時保留していた影響もあり、収入について、稼働率は目標を下回り、また費用面においても感染対策に関する衛生資材・消耗品購入費用の増加、昨今の燃料費高騰に伴う光熱費の増加等、抱優館南光台東においても当初予算を割り込んでの着地となりました。

4月より厨房調理業務を自営にて行っており、利用者一人一人の嗜好、食事形態に合わせた食の提供を、以前より質の高いものをタイムリーに実施する事ができました。コロナ禍で外出支援や行事ごとを行うに当たって制約が多い中、食事を絡めた行事を頻度良く行い、今まで参加できなかった厨房職員も企画から運営まで参加し、施設全体として一体感を持って食事サービスの品質向上に努めました。

地域とのかかわりについては、新型コロナウイルスの影響もあり、「運営推進会議」は開催を中止し文書照会にて実施。地域包括支援センターと合同で開催している、地域交流スペースを利用した「ひまわりサロン」についても開催を見送りました。

各専門職と介護職員が一体となり運営体制の維持に努めて参りましたが、年度末に中核を担う介護職員が離職した事に伴い、派遣会社などを活用し体制維持に努めているところです。直接雇用の職員募集は継続して実施しながら、サービス利用者の受入れ、介護サービスの品質低下を起こすことのないよう努めてまいります。

令和4年度の利用実績

[地域密着型特別養護老人ホーム抱優館南光台東利用実績] 全29室

・平均入居者 28.04人 稼働率96.7% (目標稼働率95.0%)

月	平均入居者数	稼働率	月	平均入居者数	稼働率
4月	28.5	98.3%	10月	28.2	97.3%
5月	28.9	99.8%	11月	27.9	96.2%
6月	28.0	96.6%	12月	26.2	90.2%
7月	28.5	98.4%	1月	28.0	96.6%
8月	28.9	99.6%	2月	27.5	94.7%
9月	28.0	96.6%	3月	28.0	96.6%

[(介護予防)短期入所生活介護抱優館南光台東利用実績] 全10室

・平均月延べ利用者数 272.8人 稼働率 89.7% (目標稼働率90.0%)

月	延べ利用者数	稼働率	月	延べ利用者数	稼働率
4月	264名	88.0%	10月	276名	89.0%
5月	258名	83.3%	11月	203名	67.7%
6月	277名	92.3%	12月	281名	90.6%

7月	271名	87.4%	1月	273名	88.1%
8月	290名	93.5%	2月	265名	94.6%
9月	302名	100.7%	3月	313名	101.0%

《抱優館南光台東各種委員会活動報告》

●リスクマネジメント委員会

【構成メンバー】

施設長、介護支援専門員、生活相談員、看護師、管理栄養士、介護職員

【開催】

計9回（1、2、3月中止）

【本年度の取り組み】

- ・委員会の目的と役割の確認
- ・事故報告書作成の手順の周知
- ・情報の共有、再発防止策の効果の確認の周知
- ・転倒転落アセスメントシートの活用と離床センサー設定状況の定期的な確認
- ・ユニット内テーブル、椅子の定期点検の実施
- ・ヒヤリハットの共有のアナウンス
- ・入浴機器のメンテナンス依頼
- ・車椅子の点検のアナウンス
- ・開催ごとの直近の事故報告内容の共有と予防策の検討
- ・施設内研修実施（年度内2回）
- ・事故件数、ヒヤリハット件数の集計

【振り返り】

今年度の介護事故発生件数は94件。大きな事故として、転倒による腰椎圧迫骨折が1件、移乗支援時に関連しての肋骨骨折が1件、食事時の窒息事故が1件あった。全体の統計によると軽微なものも含めて内出血、表皮剥離、切創などの外傷事故が41.5%、移動時の転倒・しりもちの事故が22.3%、車椅子やベッド等からのずれ落ち・転落の事故が14.9%の順で大きな割合を占めた。

前年度に続き、移乗支援時に関連した骨折事故があったことから、スライディングボードやスライドシートを追加で購入し、安全な移乗支援ができるよう施設として対策を講じた。また、施設内研修においても移乗支援に関連した内容で実施。今年度から導入した動画視聴型の研修システム（e-carelabo）を活用して実施できた。

ひやりハット報告件数は44件と少なく、ひやりハットを職員間で共有し、未然に対策を講じていくことの重要性について、職員の意識が変わるように委員会として引き続き啓発していく必要がある。

コロナウイルス感染症の蔓延、職員の入れ替わり等により委員会が開催できなかった月が年度末に続き、委員会としての決定事項が曖昧なものになってしまった部分があったことから、再確認の上で決定、周知し、介護事故防止のための取り組みを次年度も引き続き行っていく。

●感染症予防対策委員会

【構成メンバー】

施設長、介護支援専門員、生活相談員、看護師、管理栄養士、介護職員

【開催】

計4回 (4/12、7/12、10/11、1/10)

【本年度の取り組み】

- ・年間目標と活動計画の作成
- ・研修 「食中毒の予防と対策」
- ・研修 机上訓練「新型コロナウイルス陽性者出現時の対応」
- ・研修 想定訓練「新型コロナウイルス陽性者のケア方法」
- ・研修 新型コロナウイルス感染対策 COVID-19 ～感染拡大を防ぐために～
外部講師 サラヤ(株)メディカル事業本部仙台支店 猪俣 覚 様

【振り返り】

令和4年10月23日から令和4年11月2日迄において、新型コロナウイルス感染者46名。

(入居者27名、職員19名)を出すアウトブレイクを起こしてしまった。10月23日感染者発生初日、発熱者が同ユニットに2名いた為、抗原検査を実施したところ2名とも陽性判定。万が一を考え全入居者、利用者、職員に抗原検査を実施したところ、入居者、利用者10名、職員3名の計13名が陽性判定となり、翌日から連日のように感染者が増えて行った。感染原因は職員の持ち込みと考えられるが、職員も連日、抗原検査を実施して陰性を確認していた最中であり、何よりも発熱等の症状が出ている入居者もそれまで出ていなかったのが、発見の遅れに繋がった。但し、全職員が各ユニットで感染防護具を身に付け、陽性者のケアにあたった経験は今後の財産になると考える。今後、感染を起こさない為に感染予防対策に努める事は勿論であるが、再度、感染者が発生した際、対応にスピードが求められる場面に於いて、各職種がスムーズに連携が出来るものと思われる。

コロナ発生に伴い、予定されていても出来なかった2回目の机上訓練、吐物処理の実践等があったが、次年度に実施予定とさせて頂きたい。

今年度の反省を生かし、自施設で再び新型コロナウイルス感染者が出現しないよう、常日頃から職員全体での感染防止対策訓練を積み重ね、万全に備えたいと考える。

●身体拘束・虐待防止・ケア向上委員会

【構成メンバー】

施設長、介護支援専門員、生活相談員、看護師、管理栄養士、介護職員

【開催】

計4回

【本年度の取り組み】

本年度の身体拘束・虐待防止研修は虐待被害者の8割以上が認知症を患っている点に着目し、e-carelaboを活用した動画視聴型の研修を実施。

第1回の研修では「認知症 基礎」として、認知症の理解を深める為に「認知症ケアが難しい理由」「認知症ケアを学ぶ大切さ」「認知症の種類と特徴：アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭葉側頭葉型認知症」を学んだ。

第2回の研修では第1回研修の継続研修として認知症ケアの基礎を学ぶ目的で「中核症状と周辺症状（BPSD）を見分ける」「パーソンセンタードケアの理解と実践」「認知症ケアの原則」について学ぶ機会を設けた。

【振り返り】

第1回、第2回の研修ともに基本的な内容ではあったが「認知症を学ぶことは入居者様だけではなく、家族の安心にもつながることを学べた」「相手の立場に立って考えることの大切さや難しさに気付くことができた」「今まで自分が行ってきた関りが間違っていないことを確認できた」「パーソンセンタードケアの大切さを理解している反面でそれを実際の支援の場で実現することの難しさを感じた」などの意見があり、それぞれの職員が認知症への理解を深め、認知症の方に対する関りについて考える機会を持つことができたようであった。

次年度の研修では認知症ケアの応用として、対応力の強化について学ぶ機会を設けていきたいと思う。

●栄養管理委員会

【構成メンバー】

施設長、介護支援専門員、生活相談員、看護師、管理栄養士、介護職員、調理員

【開催】

計9回（第一木曜日開催 ※行事により変動）

※11月はコロナ施設内感染あり実施出来ず

※2月、3月は栄養管理委員会職員退職のため人員不足にて実施出来ず書面で確認のみ

【本年度の取り組み】

・毎月の行事食立案、実施、反省、行事委員会との連携でのイベント開催。

春のお弁当、ラーメンの日、喫茶店、母の日、父の日、土用の丑の日、天ざるイベント、精進料理。夏祭り中止に伴う“夏祭り風食事”の提供、敬老祝い膳、冬至南瓜、クリスマスイベント、年越しそば、おせち料理、餅つき、七草粥、節分、バレンタインデー、ひな祭り

・トロミ剤の検討、見直し

使用量の増加、価格高騰を受け、使用量の少ない商品で検討し変更。

・食中毒関連、ユニット内衛生管理について

・ソフト食の新規取り組み。

常食とソフト食の使用食材について検討。

- ・嗜好アンケート（利用者）3月に個別聞き取りにて実施。
- ・実施予定献立表を元に反省改善点等、意見交換。より良い給食の提供を目指す。

【振り返り】

4月、委託から施設直営化へ切り替え。職員の入替わり、同時にソフト食の新規導入も行ったこともあり、ユニット職員と厨房職員との連携が思うように図れず、ソフト食の調整が思うように進まない状況であった。毎月、ソフト食についての見直し、細かな食材の調整を行うことで、少しずつではあるがソフト食を含む全ての食事の形態が安定してきている。

未だ、ソフト食については検討の必要なことが多く、今後も引き続き多職種にて話し合い調整を行っていききたい。

直営化を行い、献立内容や使用する食材など、希望のものを取り入れることが出来るようになり、料理の質や味などは向上している。コロナ渦のため、施設内のイベントが縮小されていたが、今後は行事委員会との連携も図り、厨房と一体となつての行事計画を検討していききたい。

●排泄・褥瘡予防委員会

【構成メンバー】

施設長、介護支援専門員、生活相談員、看護師、管理栄養士、介護職員

【開催】

計9回（第4木曜日）

【本年度の取り組み】

- ・年間目標と活動計画の作成。
- ・皮膚状態の報告：特にパッドを使用している方のオムツ内の状態や乾燥によるトラブルなど原因と対策について検討した。保湿の徹底。
- ・パッドの使用状況：漏れやパッドの適切な選び方、尿量測定、交換時間やパッドの変更について検討が必要な方の確認。
- ・ユニ・チャーム様による研修「スキントラブル予防・パッドの特徴と正しい当て方」
- ・褥瘡の発生の有無と状態の報告。
- ・ブレードスケールの個別の評価を各委員が実施、結果でユニットへ褥瘡発生高リスク者の働きかけ。

【振り返り】

皮膚状態としては入浴後の保湿、必要な方は毎日の保湿剤塗布に努めてきたが、掻き傷、痒み、乾燥の状態が見られた方もいて、徹底されていたかの検討が必要だった。

パッドについてはコロナウイルス感染時にスキンコンディションを使用し、有事対応が出来た事は良かったが、その後も使用され本来の目的のため、尿量測定やしっかりした検討がされていなかった事例もあり反省点となる。

褥瘡については、一般状態の低下やベッド上での時間が長くなった場合、発赤や初期の段階が見られた方もいたが体位変換や処置、福祉用具の使用などで治癒の経過となった。

今年度は、委員の入れ替わりや委員会が3回開催できなかった事などもあり、基本的な事を発信し継続はしてきたが、取り組んで結果を出せたという実感は薄いと感じている。来年度は継続して取り組む事を決め、成果が見えるよう活動していきたい。

●行事企画・広報委員会

【構成メンバー】

施設長、介護支援専門員、生活相談員、看護師、管理栄養士、介護職員

【開催】

計12回 (第一月曜)

【本年度の取り組み】

4月：花見・春のデザート祭り、5月：母の日・子供の日プレゼント、6月：カフェ、7月：天ぷら蕎麦の日・七夕飾り作成、8月：未開催、9月：敬老会、10月：芋煮会・秋刀魚の日・紅葉ドライブ、11月：鍋の日、12月：クリスマス会、1月：餅つき・餅花作成、2月：節分・バレンタイン、3月：ひな祭り・ユニットイベント

【振り返り】

本年度は既存の天ぷら蕎麦の日・敬老会・芋煮・クリスマス会といった大きなイベントに加え新たな取り組みとして、4月に春のデザート祭りや、6月にカフェ、2月にはバレンタインイベントと計画・準備等は大変でしたが新しいイベントを行うことが出来良かった。8月のイベントはコロナにより中止になってしまい残念ではあったが、来年度は大きなイベントをユニットごとの開催ではなく、施設全体で行っていきたい。

●防災対策委員会

【構成メンバー】

施設長、総務課長、介護支援専門員、生活相談員、看護師、管理栄養士、介護職員

【開催】

計3回

【本年度の取り組み】

・消防・防災訓練の実施

6月：自主訓練(日中想定)にて実施。

【振り返り】

消防訓練は年2回実施予定であったが、10月の新型コロナウイルス感染症のクラスター発生や、12月以降退職者が多く出たことも影響し、今年度は1回のみの実施となった。6月の消防訓練では、日中想定での自主訓練を実施し、事務所職員や経験年数の浅い職員を含め、多くの職員が訓練に参

加し、火災発生時の流れを確認することができた。

エレベーター停止時の2階からの避難方法について議論を行い、非常用階段避難車や介助者ベルトのサンプルを取り寄せ、試してみる予定となったがまだ実施できていないため、今後進めていきたい。

[各種外部研修・行政等主催研修参加状況]

e-carelabo（イーラーニング）を活用した施設内研修とレポート提出を実施

ヘルパーステーション東雲（訪問介護、介護予防・日常生活支援総合事業）事業実績報告

本年度も基本的感染対策を徹底した上でサービス提供を行いました。利用者宅を訪問する際は、訪問時の体調確認、事前検温実施の依頼、マスク着用と定期的な換気を実施のもと、対応させて頂きました。また、同居されている家族や帰省されている家族においても体調確認等を行い対応して参りましたが、併設するサービス付き高齢者向け住宅において令和4年11月上旬から12月下旬にかけて新型コロナウイルス集団感染が発生しました。限られた職員でサービス提供の維持を行いました。時折他の訪問介護事業所で代替対応等もお願いし乗り越えることができました。

引き続き、利用者が居宅において、安心、安全に自立した生活が営むことが出来るように、多様なニーズへの迅速な対応を関係機関と連絡を図り、サービス提供にあたってまいります。

また、人材育成に関しては感染状況を踏まえオンライン研修、事業所内研修を取り組み、介護事故や苦情等もなくサービス提供を実施することができました。

（重点目標と課題）

- ・人材育成と雇用の拡大を図り、新規利用者の獲得に向けた営業の確立
- ・感染症対策と介護事故防止策の見直し。感染症罹患患者に対する訪問介護サービスの継続的な提供

令和4年度利用実績

訪問介護（サービス付き高齢者向け住宅東雲入居者）

	要介護1	2	3	4	5	合計
4月	14名	6名	1名	2名	0名	23名
5月	13名	6名	2名	2名	0名	23名
6月	13名	6名	2名	2名	0名	23名
7月	13名	6名	2名	2名	0名	23名
8月	14名	4名	3名	2名	0名	23名
9月	15名	4名	3名	2名	0名	24名
10月	17名	3名	3名	2名	0名	25名
11月	17名	3名	3名	2名	0名	25名
12月	18名	3名	3名	3名	0名	27名
1月	15名	4名	3名	3名	0名	25名
2月	15名	3名	2名	3名	0名	23名
3月	13名	3名	2名	2名	0名	20名

年間延人数 284名 月平均 23.6名 平均介護度 1.7

訪問介護（在宅利用者）

	要介護1	2	3	4	5	合計
4月	2名	0名	0名	0名	1名	3名
5月	2名	0名	0名	0名	1名	3名
6月	2名	0名	0名	0名	1名	3名

7月	2名	0名	0名	0名	1名	3名
8月	2名	0名	0名	0名	1名	3名
9月	2名	0名	0名	0名	1名	3名
10月	2名	0名	0名	0名	1名	3名
11月	2名	0名	0名	0名	1名	3名
12月	2名	0名	0名	0名	1名	3名
1月	2名	0名	0名	0名	1名	3名
2月	2名	0名	0名	0名	1名	3名
3月	2名	0名	0名	0名	1名	3名

年間延人数 36名 月平均 3.0名 平均介護度 2.3

介護予防・日常生活支援総合事業（サービス付き高齢者向け住宅東雲入居者）

	事業対象者	要支援1	要支援2	合計
4月	2名	2名	4名	8名
5月	2名	2名	4名	8名
6月	2名	2名	4名	8名
7月	2名	2名	3名	7名
8月	2名	3名	2名	7名
9月	2名	4名	3名	9名
10月	2名	3名	3名	8名
11月	1名	3名	2名	6名
12月	2名	4名	2名	8名
1月	2名	2名	1名	5名
2月	2名	2名	1名	5名
3月	2名	3名	0名	5名

年間延人数 84名 月平均 7.0名

介護予防・日常生活支援総合事業（在宅利用者）

	事業対象者	要支援1	要支援2	合計
4月	0名	2名	5名	7名
5月	0名	2名	5名	7名
6月	0名	2名	5名	7名
7月	0名	2名	5名	7名
8月	0名	2名	5名	7名
9月	0名	2名	5名	7名
10月	0名	2名	5名	7名
11月	0名	2名	5名	7名

12月	0名	2名	5名	7名
1月	0名	2名	5名	7名
2月	0名	2名	5名	7名
3月	0名	2名	5名	7名

年間延人数 84名 月平均 7.0名

令和4年度サービス提供割合

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
身体介護	606回	83.6%	630回	84.2%	585回	83.2%	621回	84.5%	647回	84.2%	733回	85.4%
身体生活	47回	6.5%	39回	5.2%	36回	5.1%	32回	4.4%	33回	4.3%	30回	3.5%
生活援助	72回	9.9%	79回	10.6%	82回	11.7%	82回	11.2%	88回	11.5%	95回	11.0%
乗降介助	0回	0%	0回	0%	0回	0%	0回	0%	0回	0%	0回	0%
合計	725回		748回		703回		735回		768回		858回	

	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
身体介護	718回	85.9%	668回	91.0%	706回	86.8%	869回	89.2%	699回	86.6%	654回	84.3%
身体生活	28回	3.3%	15回	2.0%	21回	2.6%	30回	3.1%	35回	4.3%	32回	4.1%
生活援助	90回	11.0%	51回	7.0%	86回	11.0%	75回	8.0%	73回	9.0%	90回	12.0%
乗降介助	0回	0%	0回	0%	0回	0%	0回	0%	0回	0%	0回	0%
合計	836回		734回		813回		974回		807回		776回	

年間訪問回数 9,477回 内訳) 身体介護 8,136回 85.8%、身体生活 378回 4.0%

生活援助 963回 10.0%、乗降介助 0回 0%

平均訪問回数 789.8回 内訳) 身体介護 678回 85.8%、身体生活 31.5回 4.0%

生活援助 80.3回 10.0%、乗降介助 0回 0%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合事業	87回	105回	101回	99回	102回	103回	96回	42回	79回	73回	71回	77回

年間訪問回数 1,035回 平均訪問回数 86.3回

内部研修報告

開催日	研修名
5/17	認知症について
6/21	高齢者虐待について
7/12	訪問介護について～訪問介護ができること、やってはいけないこと～
8/23	接遇・マナーについて
9/13	感染症対策。手指消毒方法の再確認。
10/11	事故発生と再発防止について
1/17	プライバシー保護について
2/14	やまとみらい福祉会 基準書 介護技術基準書の確認
3/14	令和4年度の振り返り

令和4年4月度及び11月、12月度は利用者と職員間において集団感染の発生の為、内部研修を中止。
2/15 令和4年度介護保険法に基づく書面指導 是正・指摘事項なし。

ホームヘルパーステーション東雲（障害者自立支援・居宅介護） 事業実績報告

令和元年11月2日以降、稼働実績がございません。事業所としては、ヘルパーステーション東雲と兼任業務となる為、対応可能な曜日・時間帯を相談支援事業所へ案内し利用者の獲得に努めて参ります。

令和4年度利用実績 なし

障害者自立支援 ※令和元年11月2日を最後にサービス利用終了。

ケアプランセンター東雲 事業実績報告

令和3年6月より3名体制となり、9月より特定事業所加算Ⅲを取得しております。近隣の包括支援センターや医療機関から新規の依頼もあり、件数は増えております。令和5年3月実績としましては、1人辺りの担当件数が34.66件となりました。

特定事業所として中重度者や支援困難ケースへの積極的な対応や、専門性の高い人材の確保、質の高いケアマネジメントを実施し、地域における居宅介護支援事業のケアマネジメントの質の向上に資することを目的とされているため、今後も職員一人一人が自己研鑽し、地域とつながり、選ばれる事業所となれることを目標とします。

（重点目標と課題）

1. 3名体制の継続
2. 1人辺り担当件数35件
3. 特定事業所としての質を確保するために市や町の連絡会、各職能団体が主催する勉強会、事例検討会、研修への積極的な参加。事業所内において困難ケースの情報共有の為の会議、勉強会を通じて質の向上を図ります。

令和4年度 利用者実績 平均担当件数 92.79件

	要介護1	2	3	4	5	合計	要支援	担当件数
4月	29件	25件	7件	8件	4件	73件	17件	81.5件
5月	31件	25件	6件	8件	4件	75件	18件	84.0件
6月	35件	24件	9件	9件	5件	81件	16件	89.0件
7月	33件	22件	9件	9件	6件	79件	17件	87.5件
8月	33件	21件	10件	10件	7件	81件	16件	89.0件
9月	38件	20件	12件	7件	5件	82件	16件	90.0件
10月	37件	19件	14件	12件	8件	90件	18件	99.0件
11月	36件	22件	12件	11件	6件	87件	19件	96.5件
12月	36件	18件	13件	11件	9件	87件	17件	95.5件

1月	38件	16件	15件	11件	9件	89件	16件	97.0件
2月	43件	16件	15件	11件	7件	92件	17件	100.5件
3月	46件	15件	15件	13件	7件	96件	16件	104.0件

(要支援認定者は2名で1件とする)

会議・研修等受講報告

受講月日	研修名	実施主体	参加者
5/20	保険者及び事業所からの連絡事項	七ヶ浜町	三浦
6/15	意思決定支援	宮城県ケアマネジャー協会	渡辺、三浦
7/15	保険者及び事業所からの連絡事項	七ヶ浜町	阿部
9/21	訪問看護	宮城県ケアマネジャー協会	渡辺・三浦
9/26	成年後見制度	多賀城市	渡辺・三浦
10/6	対人援助	塩釜市	阿部
11/19	保険者及び事業所からの連絡事項	七ヶ浜町	阿部
12/8	地域ケア会議の基本的理解	塩釜市	阿部
1/15	適切なケアマネジメント手法	(株)日本総合研究所	渡辺・阿部・三浦
1/20	保険者及び事業所からの連絡事項	七ヶ浜町	三浦
1/21	適切なケアマネジメント手法	宮城県ケアマネジャー協会	渡辺
2/2	自立支援のためのケアマネジメント	塩釜市	阿部
2/11	権利擁護	宮城県ケアマネジャー協会	渡辺
3/15	ヤングケアラーへの支援	宮城県ケアマネジャー協会	渡辺・三浦
3/20	つながりある暮らしを支えるためのケアプラン勉強会	多賀城市	渡辺

令和4年度居宅介護支援事業所巡回相談(実施主体:塩釜市) 2/27

塩釜市北部 | 地区地域包括支援センター主催 地域支え合い意見交換会 渡辺参加

9/24、11/19、1/21、3/17

他法人と協同での事例を使った勉強会・研修(菘の里介護支援センター、アークケア清楽苑)

6/22、10/12、2/13、

毎月1日 事業所内ミーティング

毎週木曜日 事業所内情報伝達会議

サービス付き高齢者向け住宅東雲 事業実績報告

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、館内への入館制限、各種行事の自粛等、制約が多い中での事業運営となりました。しかし、令和4年11月上旬から12月下旬にかけて、入居者13名、職員6名、合計19名の罹患が確認されました。期間中は入居者、職員においても保健所の指示を受けながら対応致しました。医療機関は逼迫しており、大半の入居者は居室での療養指示を受け、期間中は関係機関やご家族等と連携を図り乗り越えることができました。引き続き、安心安全かつ快適に生活頂けるよう努めて参ります。

(重点目標と課題)

- ・稼働率96.7%以上の維持
- ・食事の面においては趣味趣向、体調に応じた細かな献立作りを心掛けました。また、行事食の一環として敷地内へテーブルと椅子を準備し、青空の下お食事を召し上がり頂きました。
- ・施設設備の破損や異常において速やかに修繕を行い入居者の安全確保に努めました。
- ・年2回(12月・3月)消防訓練を実施し、災害時に職員が迅速な対応を取れるよう努めました。

令和4年度利用実績

入居者の要介護度別平均年齢 平均介護度 1.03 平均年齢 86.4歳

	自立	事業対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均
男	87歳	88歳	85歳	-	85.3歳	84歳	90歳	94歳	-	87.6歳
女	88歳	-	82歳	83.5歳	86.5歳	86.7歳	-	-	-	85.3歳
平均	87.5歳	88歳	83.5歳	83.5歳	85.9歳	85.3歳	90歳	94歳	-	86.4歳

全居室数 30室 平均稼働率 97.5%

月	稼働居室数	稼働率	月	稼働居室数	稼働率
4月	30/30室	100%	10月	30/30室	100%
5月	30/30室	100%	11月	30/30室	100%
6月	30/30室	100%	12月	30/30室	100%
7月	29/30室	96.7%	1月	29/30室	96.7%
8月	29/30室	96.7%	2月	27/30室	90.0%
9月	29/30室	96.7%	3月	28/30室	93.3%

ケアプランセンター抱優 事業実績報告

安心して住み続けることができる地域社会にはさまざまな社会資源が必要です。ケアプランセンター抱優は、介護が必要であっても、認知症になっても、住み慣れた地域でその人らしい生活が継続できることを共に考える居宅介護支援事業所を目指し活動してきました。

今年度は、職員体制1名での事業展開となりました。一人事業所のため、特別養護老人ホーム抱優館八乙女の職員の協力を受け、利用者との連絡や関係各機関との連絡を円滑に進めることができました。その中で、研修や関係各機関の会議等にも参加することができました。コロナ禍の中、感染症対策に努め、不測の事態に事業継続できるように工夫をしながらの1年でした。

今年度の実績は以下のとおりです。地域包括支援センターや病院とさまざまな機会を通じて、連携を深める取組みの結果、新規の利用者の紹介をコンスタントに受けることができました。ただ、施設入居やお亡くなりになるなど終結したケースも多く見られました。今後も、関係各機関との連携を深め、新規利用者の紹介を受けていくと共に、できるだけ長く安心して在宅で生活が継続できるケアマネジメントを実践していきます。

	要介護 1	2	3	4	5	合計	要支援	担当	新規	終結・ 入院
4月	16	14	9	2	0	41	0	41	2	1
5月	16	14	8	2	0	41	0	41	0	0
6月	15	14	7	3	0	39	0	39	0	2
7月	16	15	6	2	1	40	0	40	4	3
8月	17	14	7	4	1	43	0	43	3	0
9月	17	12	6	3	1	39	0	39	1	5
10月	18	11	7	3	1	40	0	40	5	4
11月	20	11	6	3	1	41	0	41	2	1
12月	19	11	4	3	1	38	0	38	1	4
1月	18	11	4	3	1	37	0	37	0	1
2月	18	11	5	3	1	39	1	40	2	0
3月	16	11	5	3	2	37	1	38	0	2

会議・研修等受講報告

受講月日	研修名	実施主体
4/2	なないろカフェ	加茂・虹の丘地域包括支援センター
4/15	ケアマネサロン	八乙女地域包括支援センター
4/19	ネットワーク会議	八乙女地域包括支援センター
6/3	なないろカフェ	加茂・虹の丘地域包括支援センター
6/21	ネットワーク会議	八乙女地域包括支援センター
6/24	ケアマネサロン	八乙女地域包括支援センター

8/3	なないろカフェ	加茂・虹の丘地域包括支援センター
8/22	仙台市介護支援専門員研修	仙台市
8/22	ネットワーク会議	八乙女地域包括支援センター
8/25	ケアマネ交流会	八乙女地域包括支援センター
10/3	なないろカフェ	加茂・虹の丘地域包括支援センター
10/17	ネットワーク会議	八乙女地域包括支援センター
11/2	なないろカフェ	加茂・虹の丘地域包括支援センター
11/11	認知症介護オンラインセミナー	認知症介護研究・研修センター
11/29	介護支援専門員研修会	仙台市
12/3	なないろカフェ	加茂・虹の丘地域包括支援センター
12/19	ネットワーク会議	八乙女地域包括支援センター
1/12	他法人合同事例検討会	仙台徳洲会介護センター他
1/13	八乙女・南光台地区圏域ケア会議	八乙女地域包括支援センター
1/26	介護医療連携推進会議	桜ヶ丘定期巡回ステーション
2/21	ネットワーク会議	八乙女地域包括支援センター
3/3	なないろカフェ	虹の丘・加茂地域包括支援センター

やまとみらい八乙女保育園 事業実績報告

令和4年度は定員19名のところ0歳児1名、1歳児7名、2歳児8名、計16名のスタートでした。その後2名が入園し計18名に増え、更に7月には一時預かり事業利用で1名が加わりました。途中入所の受け入れ体制をしっかりと整え、年度途中の入所に即対応することができ、その後の人数変動もなく安定した運営を行うことができました。

今年度もコロナ感染拡大防止に努め、その時の状況を慎重に見極め対応を行いました。園行事不参加の保護者へ情報提供やなかなか交流が持たない保護者同士が情報交換できる環境づくりを行い、コロナ禍においても安心安全な保育環境を保障することができました。半面、地域との交流が少なくなった為、次年度は町内会との交流がとれる形づくりに努めます。また、保育園の情報を広く発信することができなかった為、今後は情報発信に積極的に取り組んでいきます。

不適切保育・傷ましい事故の報道を受けて、あらためて職員間で保育理念、方針の共通理解を深める機会を持つことで保育の原点に立ち返る事ができた年度となりました。併せて職員が働きやすい職場環境の継続を行い、今後も保育園にかかわる全員が安心して過ごせる場所づくりに努めてまいります。

【やまとみらい八乙女保育園利用実績】

定員 19名

月	入園児数（一時預かり数）			退園児数			合計
	0歳児	1歳児	2歳児	0歳児	1歳児	2歳児	
4月	1	7	8	0	0	0	16名
5月	1	7	8	0	0	0	16名
6月	1	7	8	0	0	0	16名
7月	2(1)	7	8	0	0	0	17名(1名)
8月	3(1)	7	8	0	0	0	18名(1名)
9月	3(1)	7	8	0	0	0	18名(1名)
10月	3(1)	7	8	0	0	0	18名(1名)
11月	3(1)	7	8	0	0	0	18名(1名)
12月	3(1)	7	8	0	0	0	18名(1名)
1月	3(1)	7	8	0	0	0	18名(1名)
2月	3(1)	7	8	0	0	0	18名(1名)
3月	3(1)	7	8	0	0	0	18名(1名)

【各種会議開催状況】

保育園全体の連携や各職種連携のため次の会議を開催し、業務の改善を図った。

会議名	議題	開催日	構成メンバー
職員会議	保育・給食状況報告、 行事反省、次月予定、 課題提起・検討、情報・意識の 共有	4/12、5/9、6/13、7/11、 8/3、9/1、10/5、11/8、 12/6、1/11、2/10、3/6	園長、保育士、保育 従事者、栄養士、調 理員
クラス会議	週の活動計画 月の活動計画	週計画…毎週金曜日 月の計画…毎月1回	保育士

	課題提起、検討		
給食会議	現状報告、情報連絡、課題提起・検討	4/19、5/14、6/9、7/13、 8/20、9/20、9/10、 10/11、11/19、12/13、 1/7、2/21、3/16	園長、保育士、栄養士、調理員

【各種外部会議・行政主催研修参加状況】

保育のスキルアップや情報交換、小規模保育制度の理解を深めるため、以下の研修等に参加した。

開催日	名称	参加者	主催者
7/9	初任保育士研修みやぎカフェ	保育士	宮城県保育協議会
7/16	保育所施設長研修	園長	宮城県保育協議会
9/20	リーダー的保育士研修	保育士	仙台市子供未来局
10/25	発達障害多職種セミナー	保育士	東北大学医学部小児科
12/1	保育士キャリアアップ研修	保育士	保育のデザイン研究所
12/20	宮城県保育施設安全管理研修	保育士	宮城県保育協議会
12/26	中堅保育士研修	保育士	宮城県保育協議会
12/5	特別支援保育研修	保育士	仙台市子供未来局
3/7	保育所施設長研修	園長	仙台市子供未来局

月	日	内容
4	20	進級・入園お祝い会
	26	園児健康診断
	28	避難訓練及び消火訓練
5	18	避難訓練及び消火訓練
	24	防犯訓練
6	4	避難訓練及び消火訓練
7	7	七夕会
	12	避難訓練及び消火訓練
8	3・4	夏祭り
	18	避難訓練及び消火訓練
9	9	避難訓練及び消火訓練
	27・29	運動会
10	4	運動会
	13	芋煮会
	19	避難訓練及び消火訓練
	25	園児健康診断

	31	ハロウィン
11	7	避難訓練及び消火訓練
	25	防犯訓練
12	7	避難訓練及び消火訓練
	23	クリスマス会
1	25	避難訓練及び消火訓練
2	1	クラス懇談会・ほし組
	3	豆まき会
	7	クラス懇談会・そら組
	9	クラス懇談会・つき組
	20	避難訓練及び消火訓練
3	3	ひな祭り会
	18	※卒園式（そら組）
	23	そら組お楽しみ会
	28	避難訓練及び消火訓練

やまとみらい南光台東保育園 事業実績報告

3年目となる令和4年度は、0歳児9名・1歳児11名・2歳児12名・3歳児12名・4歳児10名・5歳児10名の計62名でスタートし、その後2名の入園で6月からは在園児数64名で3月まで運営してきました。

南光台地域の特色として見えてきた、「近隣に幼稚園・認定こども園が多くあり、保護者の意識の中にある「3歳児からは幼稚園で」という流れを止め、保育園に定着してもらえよう、園の行事や特徴ある保育を確立し、「卒園まで預けたい保育園」を目指しています。そこで令和4年度は新たに保護者のアンケート調査を元に「カリキュラムの導入」をスタートしました。この「カリキュラムの導入」と「コロナ対策を行っての行事」も後半の保護者アンケート調査で好評価を得、令和4年度「近隣の幼稚園などへの移行」は兄弟一緒を希望する1件のみでした。また、随時園見学を受け入れていくわけですが、今年度は、広く保育園を知って頂く為のホームページの作成になかなか取り組めず、令和5年度の課題となります。

また、令和4年度も研修会はリモートを中心に開催されました。出来るだけ多くの職員が実りある研修を受けられるように日程調整をし、全員が最低1回は研修を受けることが出来ました。主に共有したい内容を職員会議で伝え合い、保育の質の向上を目指しました。また、初めて仙台市のスーパーバイズ事業に参加し、専門技術向上支援事業の先生を招いて「保育全体の流れや保育の進め方について、ビデオ撮影を行い分析していく」研修会を3回実施して頂きました。実際、園内での保育を撮影したものをもとに、スーパーバイザーから受ける的確なアドバイスはとても勉強になり、大切な保育の見直しと改善につながりました。次年度も継続して行う予定です。職員会議・リーダー会・部分会・給食会議・クラスミーティングも、毎月定着しており、職員の声拾い「皆で作り上げる保育園」「全員で全園児をみる保育園」を今後も目指していきます。

コロナ対策に追われて3年。様々なコロナ対策を行っても感染は拡大し、家庭内感染した園児から多くの職員も感染し、クラス閉鎖を行う事となりましたが、クラス閉鎖を的確に判断したことで、保育園全体を閉鎖することにはならず済みました。令和4年度は、保護者の保育室への入室は制限したものの、玄関対応は避け、感染対策をしながら十分に保護者と保育の伝え合いをすることができました。

安心して安全な保育園を目指し実施している避難訓練や防犯訓練。消防署や警察署の協力を得て行うことで、より緊張感のある訓練を目指していますが、令和4年度はコロナのため訓練への参加を断られることもありました。令和5年度も続けていきたいと思えます。

今年度は、5件の通院を要する怪我がありました。内、1件は自宅から目をはらしてきたもの。3件は大事を取り「心配なしの安心を得るため」の通院。他1件は、自由遊びの際、ボールをキャッチしようと転倒したものです。今後も園児の運動能力の向上・見守り・環境整備に努め、安心して安全な保育に努めてまいります。

【やまとみらい南光台東保育園利用実績】定員60名

月	入 園 児 数						退園児	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
4月	9	11	12	12	9	9	0	62名
5月	9	11	12	12	10	9	0	63名
6月	9	11	12	12	10	10	0	64名
7月	9	11	12	12	10	10	0	64名

8月	9	11	12	12	10	10	0	64名
9月	8	11	12	12	10	10	1	63名
10月	9	11	12	12	10	10	0	64名
11月	9	11	12	12	10	10	0	64名
12月	9	11	12	12	10	10	0	64名
1月	9	11	12	12	10	10	0	64名
2月	9	11	12	12	10	10	0	64名
3月	9	11	12	12	10	10	0	64名

【各種会議開催状況】

※保育園全体の連携や各職種連携のため、次の会議を開催し業務の改善を図った。

会議名	議題	開催日	構成メンバー
職員会議	保育現状報告 意識の共有 行事計画・反省 課題提起・検討	4/28、5/24、6/21、7/19、 8/24、25、9/20、10/20、 11/24、12/26、1/24、 2/21、3/3、24	園長、主任、保育士、栄 養士
リーダー会議	部分会からの検討 情報連絡 課題提起・検討	4/6、5/10、6/7、7/5、 8/3、20、11/4、12/8、 1/6、19、2/8、13、3/24	園長、主任、リーダー
部分会	クラスからの提案 行事について 現状報告	4/1、5/9、6/6、7/1、 8/2、11/1、12/7、1/5、 2/7、3/16	リーダー、各クラスの代 表
クラス会 8月より 以上児・未満 児ミーティン グ	現状把握・共有 課題提起・検討 指導計画・反省 個別指導計画・反省 行事計画・反省	4/11、14、18、25、5/12、 13、16、18、6/13、15、 20、7/12、13、20、21、 8/19、25、9/16 10月より行事等について随 時開催	各クラス担任
給食会議	現状報告・食育計画 情報連絡 課題提起・検討	4/25、5/17、6/21、7/20、 8/24、9/26、10/27、 11/21、12/21、1/24、 2/14、3/14	園長、主任、栄養士、 リーダー、各クラスの代 表

【各種外部会議・行政主催研修参加状況】

※保育のスキルアップや情報交換、保育制度の理解を深めるため、以下の研修等に参加した。

研修日	名称	参加者	主催者
5/16	保育所長研修会	園長	仙台市保育所連合会
9/22	保育所長研修会	園長	仙台市保育所連合会
7/15	主任保育士等研修会	主任保育士	仙台市保育所連合会
11/11 12/7 12/21	キャリアアップ研修 幼児教育の意義・環境 等	保育士	宮城県社会福祉協議会
各々	キャリアアップ研修	保育士	保育のデザイン研究所
8/3	主任保育士等研修会	主任保育士	仙台市保育所連合会
8/8	中堅保育士等研修会	保育士	仙台市保育所連合会
7/21	初任保育士等研修会	保育士	仙台市保育所連合会
6/20	初任保育士等研修会	保育士	仙台市保育所連合会
10/12	栄養士研修会	栄養士	仙台市保育所連合会

6/24	乳児保育士研修会	保育士	仙台市保育所連合会
6/22	乳児保育士研修会	保育士	仙台市保育所連合会
7/22	特別支援保育研修会	保育士	仙台市保育所連合会
8/30	給食担当者研修会	栄養士	仙台市保育所連合会
全2回	コーディネーターフォローアップ研修	主任保育士	宮城県社会福祉協議会
12/26	中堅保育士研修会	保育士	宮城県保育協議会
2/3	保育の質の確保・向上セミナー	全保育士	にっぽ保育セミナー
6/30・9/19 1/27	スーパーバイズ研修 カンファレンス	保育士	仙台市子供未来局

※新型コロナウイルス感染症流行のため、殆どの研修がリモート研修となる。

【年間行事状況】

3歳以上児・・・毎月1回クッキング保育実施

4・5歳児・・・毎月1回体操教室

0・1・2・3歳児・・・毎月1回音楽リズム教室

全クラス・・・毎月一回英語教室

<令和4年度 年間行事>

月	日	内容
4	13	避難訓練&消火訓練
	(5/27)	進級・入園おめでとうの会(フォトコーナー)
	(5/11)	園児健康診断 14時30分～
	28	子どもの日・誕生会
5	11	避難訓練&消火訓練
	20	★4・5歳児親子遠足
	24	防犯訓練
	27	誕生会
6	8	避難訓練&消火訓練
	9	★保育参観・懇談会 りす・らいおん
	16	★保育参観・懇談会 ひつじ・こあら
	23	★保育参観・懇談会 うさぎ・きりん
	28	誕生会
7	7	七夕誕生会
	22	避難訓練&消火訓練
	29	★夏祭り
8	(7/13)	歯科検診
	9	避難訓練&消火訓練
	25	誕生会
9	7	避難訓練&消火訓練(消防署合同)
	16	敬老の日(以上児保育の中で)

	29	誕生会
10	5	避難訓練&消火訓練
	15	★運動会
	20	誕生会
	31	ハロウィン
	12	園児健康診断
11	2	4・5歳児園外保育
	9	避難訓練&消火訓練
	17	防犯訓練
	延期	誕生会 12月と合同
12	7	避難訓練&消火訓練
	15	誕生会
	23	クリスマス会
1	10	お正月遊びをを楽しむ会
	12	避難訓練&消火訓練
	13	★保育参観・懇談会 りす・こあら
	19・26	★保育参観・懇談会 ひつじ・きりん
	17	★保育参観・懇談会 うさぎ・らいおん
	無し	誕生会
2	3	豆まき
	25	避難訓練&消火訓練
	21	誕生会
3	3	ひな祭り誕生会
	17	避難訓練&消火訓練
	11	★卒園式
	23	卒園お楽しみ保育
	28	お別れ会

★印は、保護者参加の行事

※コロナなどにより日程変更となった行事は、予定していた月に実際行った日付を（）で記載

就労移行・定着支援事業所オルタハ乙女 事業実績報告書

令和4年度は、管理者退職に伴い年度途中での業務体制の変更がありましたが、サービス内容に大きな影響がないよう職員一丸となり取組むことが出来ました。移行支援利用の卒業生を1名ピアスタッフとして雇用を行い、1年欠勤なく、安定して勤務する事も出来ました。

訓練内容としては、これまでの継続と抱優館南光台東の清掃作業の再開、協力企業様での継続的な職場体験、外部受託作業として楽天モバイルパーク宮城での座席清掃等の新しい取組も行うことが出来、実践的な訓練と工賃アップに繋がり、利用者の皆様も意欲的に取組むことが出来ていました。

ICT設備等導入支援事業の補助もあり、訓練用のPCやタブレットの購入から、作業的な訓練だけでなく、事務訓練カリキュラムを作成し継続して取組めており、職員もICTを進める事で支援や事務業務、会議等の効率化を図る事も出来ました。オンライン上の研修等も参加しやすくなり、スキルアップに繋げる事が出来ています。

就職活動支援については、企業交流会、企業見学、職場実習などを継続して取組むことが出来、前年度以上の就職実績および職場定着実績の高さを保つことが出来ましたが、新たに訓練を希望する新規利用契約者が減少しており、終了者と新規利用者のサイクルを安定して運営する事が出来ず、令和5年度の課題となります。

令和5年度については、引き続き就職と職場定着の実績を保ち、関係機関からの紹介と多様化したニーズへ対応するため、発信方法や活動内容の見直しを行い、令和6年度の制度改正に向けた対応、利用される方や地域に必要とされるサービス、事業内容についても検討し、安定した事業運営を目指して業務に努めて参ります。

[活動実績]

就労移行 定員20名/目標1日平均利用13.5名

実績1日平均利用10.4名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者	14	12	13	14	14	12	11	11	11	10	10	11
同行支援	8	4	9	9	10	3	15	15	7	9	11	16
支援会議	3	1	2	2	2	3	1	1	2	-	3	1
休日開所	1	1	-	1	-	1	1	1	-	1	-	1
就労アセスメント	1	-	-	-	-	7	10	10	-	-	-	-
見学者	5	2	3	1	2	1	3	-	1	3	2	1
体験者	1	2	1	1	-	-	1	-	1	2	1	1
新規契約	1	-	1	1	-	-	1	-	1	-	-	1
終了者	2	-	-	-	2	2	-	1	1	-	-	1
平均利用	11.0	10.3	11.4	11.2	11.6	12.0	12.0	9.8	8.4	8.4	9.1	9.9

就労実績

・令和4年度一般企業就労者(6ヶ月以上就労定着者)8名 離職者0名

就労定着 定員20名/目標契約者12名

月平均契約者12.9名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者	11	12	12	12	12	12	14	14	13	14	15	14

定着支援	14	15	15	14	15	12	17	19	15	16	17	19
支援会議	1	1	2	2	2	-	2	2	-	3	3	-
休日開所	1	1	-	1	-	1	1	1	-	1	-	1
新規契約	-	1	-	-	-	-	2	-	-	1	1	1
終了者	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-

就労実績

・令和4年度離職者0名 ※終了者は利用期限満了後も就労継続が来ている

[各種会議開催状況]

外部会議・研修

日時	研修内容	主催
6/1	精神保健福祉基礎講座(初任者研修)	仙台市精神保健福祉総合センター
8/5	聞いてみよう!障害者雇用~建設/土木業界の事例から~	仙台市/はたらぽーと仙台
10/31	精神保健スキルアップ研修(自分の苦手な気づいたときの対応)	仙台市精神保健福祉団体連絡協議会
11/17	令和4年度家族教室(就労について)	仙台市発達相談支援センター
11/25	障害学生支援と就労移行支援に関する情報交換会	東京大学 PHED
11/28	矯正施設退所者等の障害者・高齢者の方々への地域生活支援に関する研修会	NPO 法人ワンファミリー仙台 宮城県地域生活定着支援センター
12/7	精神保健スキルアップ研修(摂食障害~経験から学び、出来る工夫を考える~)	仙台市精神保健福祉団体連絡協議会
1/16	仙台圏域情報共有会議(ハローワーク仙台見学)	宮城県令和4年度就労移行支援事業機能強化事業
1/26	宮城就業支援ネットワーク研修会(企業が行う雇用管理の視点から障害者の就労支援を考えるシンポジウム in 宮城)	宮城就業支援ネットワーク研修会 全国精神保健職親会
2/4.5	精神保健福祉士実習指導者講習会	東北福祉大学
2/11	権利擁護セミナー	宮城福祉オンブズネット「エール」
2/22	令和4年度ピアサポーター(ピア相談員)雇用促進事業支援者向け研修会	仙台市精神保健福祉団体連絡協議会
3/6	精神保健福祉スキルアップ研修(否定も肯定もしないってどういうこと?~幻覚妄想への対応を学ぶ~)	仙台市精神保健福祉団体連絡協議会
3/14	よめごと会議	泉区自立支援協議会

所内研修

	研修内容	出席者
5/18	安全運転管理研修	職員全員
6/8	避難訓練(全体参加)	
6/15	新型コロナBCP研修、感染予防のための対策検討委員会	
7/13	体調衛生管理研修	
8/5	虐待防止研修	
8/24	感染対策の基本と新型コロナウイルス感染症対策(外部講師)	
10/19	避難訓練(全体参加)	
2/15	虐待防止委員会	
3/22	防犯講座(外部講師/全体参加)	

内部会議

会議名	議 題	開催日	構成メンバー
ケース共有	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練状況、利用者の情報共有および対応の検討 ・業務連絡、翌日の予定の確認 	毎日 17:00～17:30	全職員
職員会議	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム調整、運営、役割分担、日程調整 ・支援方法、情報、意識の摺合せ 	第1（水） 15:00～16:00	全職員
	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画、ケース検討 	最終（水） 13:30～15:30	

ワインフォレストセツ森 事業実績報告

就労継続支援A型・B型事業所 ワインフォレストセツ森は事業開始から3年が経過しました。

令和5年3月現在で、A型のご利用者様9名、B型のご利用者様が13名、計22名のご利用者様が在籍しております。当事業所の取組みに興味を持っていただいた支援学校・相談支援事業所から多数の実習生の受入を行い、新規のご利用者様としてB型8名の方が新規契約、うち6名の方が現在も利用を継続されております。

今年度も株式会社みらいファームやまと様より受託頂いているレストランの厨房での業務を中心として、農福連携の葡萄畑やにんにく畑での農作業、自主事業として薪や炭の製造/販売、ケーキや菓子類の食品加工など様々な作業をご利用様に提供して参りました。また、法人内施設での清掃作業・施設整備作業を開始し、利用者様の障害特性に応じた作業の選択肢の拡大に繋げることができたと考えております。

また、今期は仙台市泉区実沢地区内に事業所の移転を計画しており、令和5年6月1日の移転を目指し準備を進めて参りました。当事業所にとって大きな変革期となり、新規利用者獲得による利用定員増や利用率の向上による障害福祉サービス等事業収入の安定化を目指します。

ご利用者様の登録数や委託業務が増える一方で、職員の一人一人のスキルやご利用者様それぞれの特性に合わせた支援体制をしっかりと整えることが一層必要となります。全ての利用者様に対して職員全員が支援計画の目標を共有し、支援スキルや知識の向上を図って参ります。また、次年度は事業所内の勉強会の開催や外部研修に積極的に参加していきます。

[サービスの状況(令和5年3月31日現在)] 定員20名(A型:10名、B型10名)

(1) サービス区分毎登録利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就労継続 支援A型	11人	11人	10人	10人	10人	10人	10人	10人	9人	9人	9人	9人
就労継続 支援B型	10人	10人	10人	11人	11人	11人	12人	12人	13人	13人	13人	13人
合計	21人	21人	20人	21人	21人	21人	22人	22人	22人	22人	22人	22人

(2) サービス区分毎地区別登録者数

	大和町	大郷町	富谷市	仙台市	合計
就労継続 支援A型	1人	1人	1人	5人	8人
就労継続 支援B型	5人	1人	3人	4人	13人
合計	6人	2人	4人	9人	21人

(3) サービス区分毎年齢別登録者数

	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50歳~	合計
就労継続 支援A型	0人	4人	1人	1人	1人	8人
就労継続 支援B型	4人	5人	1人	2人	1人	13人
合計	4人	9人	2人	3人	2人	21人

(4) サービス区分毎利用者稼働状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
最大利用日数/月		22日	23日	22日	23日	23日	22日	23日	22日	20日	20日	20日	23日
100% 稼働時	A型	220人	230人	220人	230人	230人	220人	230人	220人	200人	200人	200人	230人
	B型	220人	230人	220人	230人	230人	220人	230人	220人	200人	200人	200人	230人
延べ利 用者数	事業所	440人	460人	440人	460人	460人	440人	460人	440人	400人	400人	400人	460人
	合計	440人	460人	440人	460人	460人	440人	460人	440人	400人	400人	400人	460人
就労継 続支 援 A型	延べ 利用者数	183人	188人	183人	156人	165人	177人	179人	160人	140人	138人	149人	181人
	稼働率	83%	82%	83%	68%	72%	80%	78%	73%	70%	69%	75%	79%
就労継 続支 援 B型	延べ 利用者数	168人	136人	139人	125人	120人	138人	143人	149人	156人	184人	194人	225人
	稼働率	76%	59%	63%	54%	52%	63%	62%	68%	78%	92%	97%	98%
事業所 合計	延べ 利用者数	351人	324人	322人	281人	285人	315人	322人	309人	296人	322人	343人	406人
	稼働率	80%	70%	73%	61%	62%	72%	70%	70%	74%	81%	86%	88%

[各種会議開催状況]

内部会議

会議名	議 題	開催日	構成メンバー
営業会議	収支報告、当月の予定、事業計画に対する進捗の報告、施設運営の情報連絡	毎月1回 第4金曜 16:00から	理事長、本部職員、フォレスト職員
ケース共有	・訓練状況、利用者の情報共有および対応の検討 ・業務連絡、翌週の予定の確認	毎週金曜日 17:00~17:30	全職員
職員会議	・当月(翌月)の予定の確認 ・各種業務の調整、運営、役割分担等 ・ケース検討(随時) ・支援方法、情報、意識の摺合せ	毎月1回 第2月曜日	全職員

事業報告の付属明細書

令和 4 年度の事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

社会福祉法人やまtomらい福社会
理事長 早坂 了悦

